

第1章

モルディブ関連論文・書籍の文献解題

荒井悦代

モルディブに関する研究を開始するにあたり、アジア経済研究所図書館に所蔵されているモルディブ関連書籍を検索したが、単行書は少なかった。雑誌論文にも範囲を広げ、20年ほどさかのぼってみても、多くを探し出すことができなかった。電子版に対象範囲を広げても結果はそう変わらなかった。温暖化や環境関連の分野に対象を広げれば数は増えるだろうが、人文・社会科学の分野での研究は、他の南アジア諸国に比べて格段に少ないことが明らかである。以下ではその一部について内容の整理を行った。請求番号とはアジア経済研究所図書館の請求番号である。

文献を整理することでモルディブの政治・経済・社会の基礎的な情報について把握することができた。時間が経過したことにより、現在では当てはまらないこと（通信網の整備により情報格差は解消）もあるものの、教育や人的資源開発にかんしては依然として同じ問題を抱えており、今後の研究に大いに役立つ。

しかし同時に既存の文献では近年のモルディブで発生している政治変動や経済発展、国際関係についての変化、およびそれに伴う人々の生活や意識の変化は説明しきれないことも判明した。したがって今後はたとえば、近年の中国や中東諸国との関係については国際政治学的な分析が必要になってくるだろう。モルディブの基幹産業となった観光業についても、経済学的な視点から分析することで新たな知見が得られると期待される。多くの文献で指摘されていた人口問題に関しては、フルマーレの埋め立てと移住促進などの政策が進行中であり、これについても分析対象とする必要があるだろう。

キーワード

モルディブ 文献改題

論文名	Maldivian Media:Ownership, Operation and Trends
筆者	Ibrahim Waheed
書名	The Role of Media in Promoting Regional Understanding in South Asia
編者等	editor, Priyanka Singh. -- Pentagon Press in association with Institute for Defence Studies and Analyses, 2016.< BB00934177>
請求番号	ASA/301.15/R1

	新聞、テレビ、ラジオなどについてその歴史や使用言語などについて説明。2005 年に政党活動が正式に認められるようになり、その後メディアは各々の政党にコントロールされている状態である。監視機関は予算や人員が不足している。モルディブにとって情報を受け入れて変化してゆくことは生存のために必須。したがってメディアの役割は重要。
書名	Map of Maldives second edition 2016-Complete Guide to the Atolls & Islands of Maldives
筆者等	Water Solutions Private Limited
	環礁ごとに島の数、それぞれの島の人口、社会インフラの数などを地図と共に記載。埋め立てや人口移住についても記述あり。マーレと環礁間の相違・格差について可視化されている。
書名	The Maldives : Islamic republic, tropical autocracy
筆者等	J.J. Robinson ; : pbk. -- Hurst, 2015.
請求番号	ASXC/321/M1
	2009-2013 年にモルディブにジャーナリストとして滞在した著者が、モルディブ政治を概観。Aishath Velezinee による司法委員会を通じた活動についても詳しい。2008 年の憲法改正が PR 会社を通じて行われたことなどもほかの資料ではうかがい知れない情報である。政治や生活のなかで呪術が果たす役割についても記述が見られる。モルディブにイスラム過激派的な思想が浸透しつつある時期の様子を知ることができる。モルディブで報道や民主化運動に関わる難しさも伝わる。
論文名	The imperilled democracy in the Maldives
筆者	Anand Kumar
書名	Constitutionalism and democracy in South Asia : political developments in India's neighbourhood
編者等	edited by Maneesha Tikekar. -- Oxford University Press, 2014.
請求番号	ASA/321.7/C1
	ナシードの大統領就任(2008 年)から失脚(2012 年)、ワヒードの就任までのモルディブ政治の分析。複数政党制や民主主義の制度が定着していなかったこと、ナシードの政治手腕が未熟であったこと、前大統領のガユームの支持基盤が強固だったこと、経済的に困難なかじ取りが必要だったこと、イスラム過激派への対応の不手際さなどの要因をあげ、再び不安定な状況に戻ってし

	まった経緯をたどる。インド外交がモルディブ政治に及ぼす影響についても考慮。
論文名	South Asian Trade: What it Means to Maldives
筆者	Ismail Nahid
書名	Regional integration in South Asia : trends, challenges and prospects
編者等	edited by Mohammad A. Razzaque and Yurendra Basnett ; : paperback. -- Commonwealth Secretariat, 2014.
	ASA/330.2/R8
	SAFTA や SAPTA のような地域貿易統合がどのような意味を持ちうるのか、モルディブが利益を得るためにはどうするべきかを論考。モルディブ経済の一般的特徴、対外貿易の特徴、南アジア諸国との交易についてサーベイ。提案として、センシティブリストを減らすこと、情報ギャップを解消すること、原産国証明手続きの簡素化・効率化、航空・海上コネクティビティの強化、非関税障壁の解消がなされた。
論文名	Tumult in the Maldives (Shifting tides in South Asia)
筆者	Fathima Musthaq
雑誌名	Journal of democracy 25(2) 2014 Apr.: p. [164]-170.
請求番号	P/32/Jo9
	2013 年末の大統領選挙の混乱を背景に書かれた小論。ナシード対旧勢力(ガユームやヤミーン)という構図に変化はない。周辺の政治家や有力者は 2008 年の大統領選挙では打倒ガユームで一致団結し、2013 年には打倒ナシードと全く正反対の行動をとった。ガユーム時代の制度や仕組み・軍・警察および司法はナシードの政権運営の妨げとなった。イスラム原理主義的な動きもナシード政権を攻撃した。巨額の財政赤字や地域間格差などもナシード政権の足かせとなった。
論文名	The Maldives The shifting nature of a welfare state
筆者	Aniruddha Bonnerjee
書名	Development and welfare policy in South Asia
編者等	Gabriele Koehler and Deepta Chopra ; : hbk. -- Routledge, 2014. -- (Routledge explorations in development studies).
請求番号	ASA/36/D1

	モルディブは財政支出の 50%をソーシャルセクターに支出しており、福祉国家と位置付けられ、指標的にも優秀である。さらに 2008 年には民主化や権利・自由を保障する内容となった。ただ、これらの指標の達成は非民主的な政治制度下で行われた。2008 年の民主化後も制度の運用面で問題がないわけではない。財政的な制約もある。この論文では、経済成長の様子、財政および教育・保健・労働市場・社会保険など社会セクターにおける開発など、過去 10 年の福祉国家としての軌跡および問題点をたどった。
書名	Maldives presidential elections : 7 September, 9 November and 16 November 2013 : report of the Commonwealth Observer Group
編者等	Commonwealth Secretariat, 2014. -- (Commonwealth election reports).
請求番号	ASXC/324/M1
	英連邦選挙監視団による、2013 年の大統領選挙モニター結果。3 回にわたって行われた投票自体は透明性が保たれ、穏便であった。しかし最高裁が初回の投票結果を無効として以降、日程などが頻繁に変更され、混乱をもたらした。報告書の趣旨は選挙監視であるが、当時の政治背景を理解する客観的な資料となっている。
論文名	Comparative Study of Service Commissions in SAARC Nations
	Aistath Rasheed
書名	Governance in South Asia : state of the civil services
編者等	edited by K.S. Chalam ; : hb. -- Sage, 2014.
請求番号	ASA/35.08/G1
	モルディブの公務員制度は 1980-90 年台に海外の専門家らとの共同作業で採用、昇進、異動、退職、年金、人材開発に関する整備が行われた。Public Service Division(PSD)は 1999 年に設立。2003~2008 年まで PSD が人事業務を担当。政治的な介入あり。特に 2006-07 年は顕著で、公務員の士気を損ねた。2008 年に議員立法によりシビル・サービス委員会法 (CSC) 成立。公務員の政治参加を禁止。2008 年の憲法でも公務員の独立性などを担保。
論文名	Male: Island Capital of an Island Nation
筆者	R.P.Misra and Anupam Pandey
書名	Urbanisation in South Asia : focus on mega cities
編者等	edited by R.P. Misra. -- Foundation Books, 2013.
請求番号	ASA/711.4/U1

	首都マーレの歴史、人口、行政(マーレ市もあるが、中央政府の役割が大きい。ICT が 1980 年代に導入されており地域間格差の解消に寄与)、各地から教育や医療、雇用機会を求めて若者が移住、自然増もあり、人口増加率が高い。これに対応するためにマーレや周辺島の埋め立てが進行中。観光業振興政策について記述あり。2002 年の時点での地方分権化政策について、ガユーム及び当時の計画・開発大臣の発言を記載。
論文名	Democratisation in Maldives
筆者	Alok Bansal
書名	Democracy in South Asia : emerging issues and constraints
編者等	editor, B.C. Upreti, Krishan Gopal. -- Kalinga Publications, 2012. -- (South Asian studies series).
請求番号	ASA/321.7/D3
	2005 年の複数政党制の導入、2008 年の新憲法の制定、2009 年の大統領選挙においてガユームからナシードに政権交代するプロセスをまとめた。民主化のプロセスは停滞気味だったが、イスラム過激派の伸張に危機感を抱いたモルディブはその理由を民主的な権利がないことだと判断し、民主化プロセスを迅速化したことから、筆者はモルディブの例は過激なイスラームへの解決策になるとも期待。
論文名	Maldives
筆者	Hussain Niyaaz
書名	Foreign aid in South Asia : the emerging scenario
編者等	edited by Saman Kelegama ; : hb. -- SAGE, 2012.
請求番号	ASA/330.3/F2
	モルディブは援助を活用し、短い期間で高い人間開発指標を達成した。所得も上がっており 2011 年に LDC を卒業し、中所得国に移行したことで譲許的な援助をえられなくなった。一方で人口増加率は高く、住宅問題などを抱えている。小さな島国が共通して持つ問題を抱えている。さらに民主化などの岐路にあり、援助は必要である。日本は最大の援助国だったが、LDC 卒業と共に減少。代わりに中国やインドが増加。経済は観光と漁業に依存しており脆弱で開発に海外からの資金は必要。優先順位の決め方や計画の立案・実施における改善も必要。

論文名	The challenge of sustainable tourism development in the Maldives -- understanding the social and political dimensions of sustainability
筆者	Scheyvens, Regina
雑誌名	Asia pacific viewpoint 52(2) 2011 Aug.: p. [148]-164.
請求番号	P/3/Pa4
	観光業の持続的な開発を実現するためには、社会的・政治的な問題により注意を払う必要がある。モルディブは一人島リゾートを政策として観光業を開発し、国際的にも持続可能な観光業とみなされてきた。しかし、それ政治的な安定に支えられたものだった。観光業は発展したものの所得の配分が均等に行われなかったことによる不満から反政府の動きが活発となった。さらに持続可能な成長を継続するには、政策に多くのステークホルダーの意見を反映させることだが、少数の既得権益層がいること、民主主義が成立して間もないことから実現はむつかしそうだ。
論文名	Food Security in Maldives
筆者	Deepti Sethi
書名	Policy options to achieve food security in South Asia
編者等	edited by Surabhi Mittal and Deepti Sethi. -- Foundation Books, 2011.
請求番号	ASA/633/P2
	農地は 30 平方キロしかない。農業人口も少ないので、食料は 90% を輸入に依存。外的な影響が直撃する。2004 年の津波でも重大な影響を受けた。気候変動はモルディブが依存する観光と漁業に影響する。モルディブ政府、日本を含む援助国、FAO など国際機関による食糧供給安定化政策について記述。国内食料生産を増やすための提案について。
論文名	The Maldives
筆者	Denish de Mel and Suwendrani Jayaratne
書名	Migration, remittances and development in South Asia
編者等	edited by Saman Kelegama. -- SAGE, 2011.
請求番号	ASA/331.6/M1
	小さな島国の経済（SIE）に似つかわしくなく、モルディブは大量の労働者を受け入れ、送金の流出過多となっている。海外からの労働者の特質（建設労働者、観光業、金融・不動産、教育）（南アジア、近年バングラデシュが増加）、労働規制（南アジア諸国と比較して規制が緩い）、海外労働者がミクロ・マクロ経済に及ぼす影響（国内労働移動も看過できない、外国人労働者の賃金は

	安いので雇用主は外国人を選好し、国内の失業率が上がっている。特に若者に顕著。スキル教育は不足しており国内で高等技能労働者を雇用できないのも問題。他の南アジア諸国では送金による外貨獲得が国際収支をバランスさせているが、モルディブではネガティブな影響。)、政策的意味(最低賃金を設定する、技術教育を強化する)について考察。
書名	Existence of twin deficits in economics : with special reference to the economy of Maldives
筆者	Kanchan Datta, Chandan Kumar Mukhopadhyay. -- Abhijeet Publications, 2011.
請求番号	ASXC/330.1/E1
	モルディブにおける財政赤字と貿易赤字についての計量分析。使用データは2003 年まで。
論文名	Maldives
筆者	Jagath Dissanayake, Suwendrani jayaratne
書名	Trade liberalisation and poverty in South Asia
編者等	edited by Jayatilleke S. Bandara, Prema-chandra Athukorala and Saman Kelegama ; : hbk. -- Routledge, 2011. -- (Routledge studies in the growth economies of Asia ; 105).
請求番号	ASA/382.1/T1
	SIE であるモルディブが、1989 年の経済改革を行って 20 年あまりが経過した。1989 年の経済改革では輸入割り当ての撤廃、民間部門の輸入ビジネスへの参入許可、投資規制の緩和などがおこなわれた。その結果、南アジアで最も開放的となった。これによってモルディブは輸出、輸入、GDP の急成長を遂げた。同時に貧困の削減も達成した。しかし、国内での不均衡は拡大した。交易は、雇用を創出することで貧困を削減した。特に首都マーレでの雇用は増えた。周辺の環礁から職を求めて移住が増えた。これらの雇用により家計所得は増えた。しかし、改革前に女性が担っていた職は改革後に減ってしまい、結果として女性や女性が家長の世帯の所得は減った。島々が分散していることで、発生している問題もある。輸送コストがかさむため、マーレよりも環礁では物価が高い。交易の GDP に占める割合は増えたものの、輸出品目の少なさ、食料をほぼ輸入に依存していること、外国人労働者への依存度の高さから、外的ショックに脆弱である。

論文名	Colonial imaginaries and postcolonial transformations -- exiles, bases, beaches
筆者	Kothari, Uma: Wilkinson, Rorden
雑誌名	Third world quarterly 31(8) 2010: p. 1395-1412.
請求番号	P/33/Th3
	インド洋に位置するセイシェル、モーリシャス、モルディブは、交易上も軍事上も重要とみなされ、植民地支配された。その間、流刑地、軍事基地そしてリゾートへと役割をかえていった。
論文名	Maldives' s Economy
書名	Global companion to South Asian economy : tradition, transition and transformation
筆者等	Jaquir Iqbal. -- 1st ed. -- Global Vision Publishing House, 2010.
請求番号	ASA/33/G1
	南アジア各国の経済の基本情報を収集。発展段階を各国別に横並びで比較したもの。情報は 2008 年の大統領選挙以前のものに限られる。
論文名	Historical and modern links between Bangladesh and Maldives -- distant neighbours with near minds
筆者	Husain, Syed Anwar
雑誌名	BIISS journal 31(3) 2010 July: p. [207]-214.
請求番号	P/327/Bi1001
	モルディブとバングラデシュは、海上交通を通じて交易があり、バングラデシュから繊維、コメ、小麦、豆、砂糖、アヘン、たばこなどを輸出。モルディブの文化にも影響を与えた。現在ではバングラデシュ人労働者がモルディブのサービス産業・建設産業で大量に働いている。歴史的・宗教的・言語的な共通点、環境面での脅威にさらされていることなどの共通点がある。しかし、二国を直接結ぶルートは海・空共にない点が二国の関係深化を阻んでいる。 (コメント：モルディブにおけるバングラ人労働者についての分析は全くない)
論文名	Population, gender and development in Maldives
筆者	Shaljan, A. M.
雑誌名	Economic and political weekly 39(18) 2004 May 1: p. 1835-1840.
請求番号	P/3/Ec1

	モルディブは急速に経済発展と人間指標開発を達成した。しかし、いまだに経済は漁業と観光に依存し、外的なショックに脆弱である。環境面でも脅威にさらされている。さらに人口増加率も高く、離島に散らばった国民に社会サービスを提供するコスト、環境面への負荷を考慮する必要がある。女性の地位は一見高い。しかし、雇用や教育の面で制約がある。
論文名	The Muslims of Sri Lanka -- the Maldivian connection.
筆者	Mahroof, M. M. M. :
雑誌名	Journal of the Pakistan Historical Society 48(3) 2000 July/Sept.: p. 5-13.
請求番号	P/954.9/P1
	同じ地域のイスラム教徒としての歴史的・文化的な共通点と相違点。 スリランカのムスリムコミュニティは、モルディブに強い関心を持ち続け、たびたび怒る政治的変動に対しては早期解決を望んできた。モルディブフィッシュ(鰹節)の取引があり、荷下ろしの期間に滞在し、交流。スリランカで教育や医療を受けることも。モルディブは1960年代に経済発展。教員としてスリランカから渡航。食料などをスリランカから輸入。
論文名	Labour Market in the Maldives: The Case for Institutional Reforms
筆者	R.N.Ghosh and M.A.B. Siddique
書名	Economic liberalisation and institutional reforms in South Asia : recent experiences and future prospects
編者等	edited by Dilip Dutta. -- Atlantic Publishers & Distributors, 2000.
請求番号	ASA/338.98/E1
	島々が孤立しており、通信設備も少なく、移動コストも高いことから労働移動が困難であり、労働需給はバランスしない(これについては現在においては携帯電話の普及により解消されたものとする)。離婚率は高い。出生率も高い。1980年代、90年代に労働市場調査がなされた。教育と技術指導の必要性が指摘された。労働参加率が低い。イスラム教の国では女性の労働参加率は一般に低い。不完全雇用・仕事のえり好みも影響。きつい仕事は海外からの労働者が行う。失業率が低い、これは定義の問題。1990年までに漁業・農業などの従事者減少。動力船の導入、女性の乾燥魚作業の減少。観光も影響して建設・サービス従事者が増加。一部の女性は公務員に吸収された。自営、またはサブコントラクトが多い。 海外からの労働者(海外労働者)の国別、分野別割合。民間部門及び公共部門(教育)で雇用。モルディブ人との間に緊張。海外労働者を保護する規定がな

	い。 改善すべき点が列挙されている。(コメント：現在の状況と大きく変化していない)
書名	The Maldives : a nation in peril
編者等	speeches by Maumoon Abdul Gayoom, president of the Maldives. -- Ministry of Planning Human Resources and Evnironment, 1998. <BB00034435>
請求番号	ASXC/361.98/M1
内容	ガユーム元大統領の演説集。1987 年 4 月の高波にさらわれた経験から、海面上昇による国家の消滅に危機感を抱いたガユームが、国際社会で環境保全を訴えた。1987 年から 1998 年までの演説を収録。
書名	Sri Lankan-Maldivian cultural affinities
筆者	V. Vitharana. -- Academy of Sri Lankan Culture, 1997.
請求番号	ASA/008/S1
	スリランカ人研究者によるシンハラ語とディベヒ語の比較研究、イスラム改宗前のモルディブの歴史など。
論文名	Migration from SAARC countries to India -- a policy issue.
筆者	Singh,R. K. :
雑誌名	Manpower journal 32(2) 1996 July-Sept.: p. 11-22.
請求番号	P/331/Ma11
	1981 年センサスを用いて SAARC 国からのインドへの移住を男女別、州別・都市・農村別に集計。1971-81 の変化についても分析。モルディブからの移住者は、女性の比率が低い。ほかの国が近隣の州に居住している一方で、モルディブからの移住先は UP 州、パンジャール州、ビハール州、グジャラート州などとなっている。